
運命の探偵と怪盗

紅夜 鋭牙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

運命の探偵と怪盗

【Nコード】

N3673K

【作者名】

紅夜 鋭牙

【あらすじ】

鳴海探偵事務所のデスクで人生の教科書（ハードボイルド小説）を読む翔太郎の所にひとつの依頼が来た
それが全ての始まりであり 運命のいたずらだった。

はじめに&謝罪

どうも皆さんこんにちは

紅夜 鋭牙です。

まず、以前書いていた小説の構想が思いつかず 逃げていたことを、お詫び申し上げます。

今回からキャラクターを少し変えてまた連載したいと思います。

過去に放送された「ルパン三世VS名探偵コナン」を基盤に仮面ライダーWと ディケイドをクロスオーバーする予定です。

今回はちゃんと最後までやり遂げますので、どうか暖かい目で応援してください。

ここからは応募をしたいと思います。

この小説で登場して欲しいキャラやライダーを教えてください。

何の作品に出ていて 誰が変身するのか オリジナルライダーもOKです。

?キャラ、ライダーの名前

?何の作品に出ているのか

?どんな能力があるか

?フォームはいくつあるのか

?サブキャラはいるのか

などといった事を、感想といっしょにお書きの上送ってください。

なお基盤はWで行きます。

EP 1 突然の依頼（前書き）

とりあえず短めです。 翔太郎が話しの終わりにつける記録風に書いていきます。

EP 1 突然の依頼

今回はいろんなことがありすぎた。

あれはとある日のことだった。フィリップがいつものようにラジオでヒーリングプリンセスを聴いていたときだ。あれはまさに運命のいたずらだった。

「おい翔太郎！」

突然、事務所の扉が勢いよく開いたのだ。いきなりのに翔太郎、フィリップ、亜樹子はすぐに扉の方を見る。そこに居たのはよく知ってる刃野刑事とマツキーこと真倉刑事であった。

二人は素早く翔太郎のデスクの前に立ちいつもなく真剣な目で翔太郎を見る

「どうしたんですか？ ジンさん？ マツキー？」 訳が分からない

翔太郎は用件を聞く。すると二人は口をそろえて

「『『風の人』を探してほしい！！』」

これが全ての始まりだった。 始まりだったんだ・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3673k/>

運命の探偵と怪盗

2010年10月12日03時43分発行